

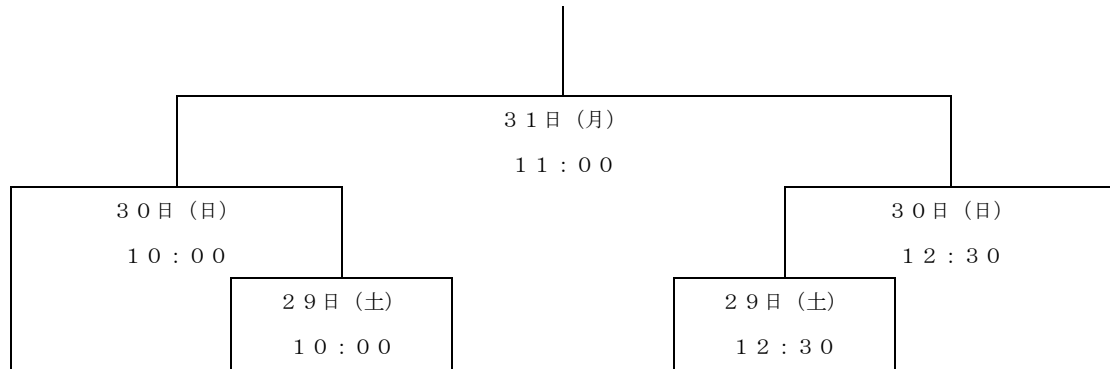
第18回北信越地区高等学校軟式野球大会（平成28年度）

開 催 要 項

- 1 名 称 第18回北信越地区高等学校軟式野球大会（平成28年度）
- 2 期 日 平成28年10月29日（土）、30日（日）、31日（月）
3日間（雨天順延） 予備日11月1日（火）
- 3 会 場 県営上田野球場
- 4 主 催 北信越地区高等学校野球連盟
- 5 主 管 長野県高等学校野球連盟
- 6 後 援 長野県教育委員会、上田市、上田市教育委員会
信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、毎日新聞長野支局
- 7 参加選手資格 日本高等学校野球連盟の制定する平成28年度大会参加者資格規定による。
ただし、平成28年度に硬式野球選手として登録された者ならびに母校を背景としたクラブチーム以外の野球チームに登録または所属した者は出場することはできない。各県高等学校野球連盟軟式部に加盟した学校に限る。
- 8 試 合 球 全日本軟式野球連盟公認のA号球（ケンコー）を使用する。
- 9 参 加 校 福井県1校、富山県1校、新潟県2校、長野県2校、 計6校
- 10 入 場 料 無 料
- 11 参加申込み 10月13日（木）午後3時までに所定の選手資格証明書を提出すること。
（郵送・FAX共に可。FAXの場合は原本を公式練習の際に提出する。）
提出先 〒386-8715 長野県上田市 1-4-32
上田高等学校内
長野県高等学校野球連盟軟式部会事務局宛
TEL/FAX 0268-75-0200
- 12 組合せ抽選 10月13日（木）午後4時、長野県高等学校野球連盟軟式部会事務局において公正に代理抽選を行う。なお抽選は次の原則に従う。
① 同一県チームは、決勝戦まで合わせない。
② 2校出場する県の第2代表校は1回戦からの出場とし、第2代表校同士は1回戦では対戦しない。
- 13 大会本部 県営上田球場
- 14 開・閉会式 午前9時から開会式を、決勝戦終了後閉会式を、それぞれ県営上田球場で行う。
- | 開会式（9:00） | 閉会式 |
|-----------|-------------------|
| ① 役員整列 | ① 役員整列 |
| ② 選手入場 | ② 選手入場 |
| ③ 国旗掲揚 | ③ 表彰 |
| ④ 優勝旗返還 | ④ 閉会の挨拶 |
| ⑤ 開会の挨拶 | ⑤ 国旗降納 |
| ⑥ 歓迎の言葉 | ⑥ 優勝校準優勝校ダイヤモンド一周 |
| ⑦ 選手宣誓 | ⑦ 一同退場 |
| ⑧ 一同退場 | |
- 開会式には、各チームとも午前8時40分までに全員ユニホームを着用、チームで統一された色のアップシューズにて、ライト側入り口前に集合して下さい。なお、選手宣誓は長野県1位校とする。

15 組み合わせ

※番号の若い方が1塁側



16 審判委員 長野県高等学校野球連盟審判部

17 経費 出場チームの旅費・宿泊費は全額各チーム負担とする。
 宿泊費は1泊2食で7700円(税込)とする。

18 大会前日(10月28日)の練習会場割り当て

練習時間	県営上田野球場
9:00~10:00	
10:00~11:00	
11:00~12:00	
12:00~13:00	
13:00~14:00	
14:00~15:00	

※10月14日(金)午前10時までに各県事務局並びに出場校に「組み合わせ」「前日練習割」をFAXにて連絡いたします。

19 宿 舎

	宿舎名	住所	TEL	FAX

宿泊の申し込みは別紙の「宿泊・弁当要項」に従ってください。

宿泊の申し込みは、近畿日本ツーリスト(株)に連絡・FAXして下さい。

20 試合中の紛争処理

試合中に紛争が生じた場合は、その試合を担当する審判員が責任をもって処理する。

21 試合に関する諸規定

- ① 試合規定は、2016年度公認野球規則ならびに日本高等学校野球連盟が定めた特別規則による。
- ② シートノックは原則として7分間とする。ただし、試合の進行等が遅れた場合は時間を短縮するか省略することもある。なお、シートノックに練習補助員（生徒に限る）の参加を5名まで認める。練習補助員は両耳つきヘルメットを着用し、ノックを受けないこと。ノック終了後はすぐに退場すること。
- ③ ノッカーが、監督、責任教師以外の場合は、大会本部に届け出ること。
- ④ ダッグアウトの中は、責任教師、監督、記録員（生徒に限る）各1名と登録選手18名以内の計21名以内とする。なお、記録員の服装は背番号のないユニフォームまたは制服、トレーニングウェアとする。
- ⑤ 打者、走者及びベースコーチは危険防止のため必ず両耳つきのヘルメットを着用すること。
- ⑥ 捕手は守備時必ずマスク、ヘルメット、プロテクター、レガース、急所カップを着用する。
- ⑦ 打席時の手袋着用及び、守備につく投手以外の野手の手袋着用を認める。
- ⑧ 金属バットの使用は日本高等学校野球連盟並びに全日本軟式野球連盟で許可したものに限り、商標表示は1色とし、表示の大きさは縦8センチ、横28センチ以内とする。また、テーパー部にはリングなど商標と認識されない印刷は認める。なお、木製、金属バット以外のバットの使用は認めない。（ビヨンド、ハイコンバットなど）
- ⑨ コールドゲームは5回以降10点差、7回以降7点差とする。ただし、決勝戦には適用しない。また、降雨などによるコールドゲームは7回表終了以降に適用する。
- ⑩ 延長戦となった場合は13回よりタイブレーク制度を実施する。タイブレーク制度の詳細は高校野球特別規則に準ずる。ただし、決勝戦においては実施しない。
- ⑪ 決勝戦において延長戦は15回で打ち切り、翌日に再試合を行う。
- ⑫ 選手は選手資格証明書で登録した通りの背番号をつけること。
- ⑬ アピールは主将、伝令または当該選手に限る。審判のジャッジには抗議できない。
- ⑭ メガホンの使用は責任教師、監督に限る。ベンチ内の選手は使用できない。
- ⑮ メンバー表の提出・攻守の決定は、第1試合の場合は試合開始予定時刻の40分前、第2試合以降は前試合の5回終了後に大会本部前で行う。所定の用紙にオーダーを記入の上、両校の責任教師は主将を同行して集合すること。
- ⑯ 責任教師、監督、選手の登録変更は、開会式受付時まで認める。所定の用紙に記入の上、大会本部に提出すること。
- ⑰ その他の規定は、全国高等学校軟式野球選手権大会試合規則に準ずる。

22 応援

- ① 生徒応援団には必ず引率教師がつき、所定の席で応援すること。
- ② ブラスバンド以外の鳴り物は禁止する。笛及び太鼓の使用はリーダーのみ認める。試合前後と自チームの攻撃の時に演奏し、相手チームの攻撃の時は自粛する。
- ③ 横断幕等はスタンドの最上部に取り付けること。
- ④ 選手や審判委員に対するヤジは慎むこと。
- ⑤ グラウンド内に入ったり、紙吹雪、テープ、その他いかなる物も投げ入れないこと。また、応援席を立ち去る時は球場の清掃美化に協力すること。

23 その他

試合中に起こった不慮の事故に対しては、応急手当をする以外、主催者は一切責任を負わない。前回大会（28年度春季）優勝校の上田西高等学校は優勝旗を返還してください。